

# 日本農林規格の変遷

規格の名称	告示年月日	告示番号		内 容 等
		制定	改正	
合 板	平成15.02.27	233		昭和39.04.11付け第383号「普通合板の日本農林規格」、昭和42.06.30付け932号「コンクリート型枠用合板の日本農林規格」、昭和44.09.10付け1371号「構造用合板の日本農林規格」、昭和40.01.26付け65号「特殊合板の日本農林規格」、昭和36.06.15付け623号「難燃合板の日本農林規格」及び昭和47.09.11付け1650号「防災合板の日本農林規格」の6規格を整理統合一本化して、新たに「合板の日本農林規格」として制定
	20.12.02	1751		普通合板の表面の品質基準の変更 コンクリート型枠用合板及び構造用合板の単板の厚さ基準の変更 構造用合板の曲げ性能(2級)のヤング係数基準の追加、さね加工の追加 普通合板、構造用合板、天然木化粧合板及び特殊加工化粧合板の防虫剤ホキシムを削除 摩耗試験機の種類の明示 ホルムアルデヒド放散量試験における濃度の算出はバックグラウンド溶液を基準とする
	26.02.25	303		化粧ばり構造用合板の規格の追加 普通合板の表面の品質の基準の3等 4等の追加 コンクリート型枠用合板の幅方向スパン用の曲げヤング係数の基準の変更(2.5GPa又は10 <sup>3</sup> N/mm <sup>2</sup> 以上) 構造用合板及びコンクリート型枠用合板の板面の品質における表板及び裏板の単板の厚さの変更 天然木化粧合板及び特殊加工化粧合板の規格の側面加工の追加 摩耗試験の試験片数の変更(試験片数減) ホルムアルデヒド放散量試験片の作成の変更(試験片の合計面積を1800㎠以上とした)
	28.08.30	1637		特殊加工化粧合板の表面性能の基準として設けている、退色試験の実施による退色性の確認に係る項目を廃止
	29.10.20	1578		構造用合板に保存処理基準を創設(特類・インサイジング不可) 木材保存剤の種類及び浸潤度と吸収量の基準を規定した 木材保存剤の種類は、製品処理:BAAC、CUAZ、AZN 単板処理:ACQ-1とした
	平成30.3.29 令和00.6.27	683 475		・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更
フローリング	昭和49.11.13	1073		昭和33.11.27付け第961号「広葉樹フローリングの日本農林規格」、昭和41.09.06付け第1051号「広葉樹天然乾燥床板の日本農林規格」及び昭和44.09.10付け第1372号「木質複合床板の日本農林規格」の3規格を整理統合一本化して、新たに「フローリングの日本農林規格」として制定
	55.09.13	1320		ホルムアルデヒド放散量基準値の追加
	60.12.25	1861		防虫基準の追加(ほう素化合物、クロルデン、ホキシム及びフェントロチオン)
	61.09.20	1639		防虫基準のうちクロルデンの基準の削除
	63.09.10	1413		防虫基準のうち、ふっ素化合物を削除し、ホキシム(ホキシム及びオクタクロジプロピルエーテルの混合薬剤を含む。)、ピリダフェンチオン及びクロルピリホスの追加
	平成03.07.23	955		複合フローリングの基材による分類化
	09.09.03	1381		計量法の全面改正に伴う試薬の濃度表記の変更
	12.07.10	990		ホルムアルデヒド放散量表示区分及び同基準値の変更 アクリルデシケーター法の採用
	15.02.27	240		表示義務化に伴う性能区分の変更 ガラスデシケーター法の採用
	20.06.10	936		摩耗試験機の種類の明示 ホルムアルデヒド放散量試験における濃度の算出はバックグラウンド溶液を基準とする
	25.11.28	2903		複合1種フローリング、複合2種フローリング、複合3種フローリングの基材による分類をなくし複合フローリングと統一した 防虫薬剤のホキシムを廃止 不陸緩和材を貼付したものの厚さの許容差を変更(±0.5) 単層フローリングの表面の品質に2等を追加 表面の品質における塗装仕上げの基準を変更 ホルムアルデヒド放散量試験片の作成の変更(試験片の合計面積を1800㎠以上とした)
	平成30.3.29 令和00.6.27 令和00.8.15	683 475 675		・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更 ・単層フローリングの定義として圧密処理等、ひき板の密度を高めることを目的とした加工を行わないひき板を基材とすることを明記した ・入り皮、やにつぼ及びやにすじに関して化粧目的に使用しているものについての取り扱いを規定 ・長さの寸法の許容差を見直し ・浸せき剥離試験の試験片作成について「節等の欠点部分又は充填補修した箇所が側面及び木口面にないもの」とすることを明記 ・ホルムアルデヒド放散量試験について装置及び機器の条件を追加 ・単層フローリング及び複合フローリングの化粧板の樹種名の表示の方法について複数の樹種を用いた場合その使用量の多いものから記載することとした ・摩耗試験の手順として摩耗紙の目つまりを防ぐために処置を記載 ・複合フローリングの化粧板にひき板を使用したものの表示方法について化粧板の種類を括弧を付して「天然木化粧(ひき板)」と記載することを追加

規格の名称	告示年月日	告示番号		内 容 等
		制定	改正	
集 成 材	昭和49.07.08	601		規格構成整備、構造用2級の追加等により全部改正し、新たに「集成材の日本農林規格」として制定
	52.03.29		318	枠組壁工法構造用製材寸法の追加
	55.05.30		778	見付け材面、化粧薄板の厚さ基準の追加
	57.03.25		566	許容応力度設定による樹種区分の変更
	61.12.25		2053	「構造用大断面集成材の日本農林規格」を独立制定 ボンデローサパイン及びロッジポールパインの樹種追加
	平成03.09.05		1145	ラジアタパインの樹種追加
	08.01.29		112	「化粧ばり構造用集成材」を「化粧ばり構造用集成柱」に用語変更 「構造用集成材の日本農林規格」を独立制定
	12.07.10		991	ホルムアルデヒド放散量表示区分の追加 ホルムアルデヒド放散量試験の捕集方法での両木口面をシールすることとする
	15.02.27		234	ホルムアルデヒド放散量表示義務化に伴う性能区分の変更
	19.09.25		1152	平成8.01.29付け第111号「構造用集成材の日本農林規格」を廃止し、昭和49.07.08付け第601号「集成材の日本農林規格」に統合 構造用集成材の使用環境区分の変更、構造用集成材で使用できる接着剤の基準の変更、構造用集成材のラミナに使用する樹種の追加、構造用集成材のラミナの厚さの変更、構造用集成材のラミナの品質及び構成等の拡大、幅はぎ未評価ラミナの追加、ラミナの両端部の評価基準の追加、塗装の追加、二次接着の定義を規定し、二次接着を評価する方法の追加
	24.06.21		1587	構造用集成材の樹種にウエスタンラーチ追加 内層特殊構成集成材追加
	28.08.30		1638	集成材の接着性能に関する表示事項として、使用した接着剤を追加する
	29.10.20		1579	化粧ばり造作用集成材の化粧薄板の厚さ制限の見直し： ・敷居、かまち及び階段板の上面：1.5mm以上 → 0.6mm以上 構造用集成材 ・構造用集成材（中・小断面）に保存処理基準を創設 （対称異等級、同一等級構成（内層特殊構成は除く）、インサイジング可） 木材保存剤の種類及び浸潤度と吸収量の基準を規定した 木材保存剤の種類は、製品処理：AZN、製本処理：ラミナ処理：AAC-1とした ・たて継ぎの長さ制限の見直し：構造用集成材 フィンガー長さ：10.5mm（内層用）又は12.0mm（内層用以外）以上 → 6.0mm以上 ・ラミナの強度測定の方法の見直し 等級区分機により測定した場合にも「曲げB試験」を行うこととした。 ・変色の基準の見直し（製品及びラミナの材面の品質） 目立たない程度であること → 利用上支障のないこと 化粧ばり構造用集成柱 ・ラミナの積層数の見直し：5枚以上 → 4枚以上
	平成30.3.29 令和00.6.27		683 475	・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更
	単板積層材	昭和53.08.08	106	
60.12.25			1861	防虫基準の追加（ほう素化合物、クロルデン、ホキシム及びフェントロチオン）
61.09.20			1639	防虫基準のうちクロルデンの基準の削除
平成09.09.03			1381	計量法の全面改正に伴う試験の濃度表記の変更
12.07.10			988	ホルムアルデヒド放散量表示区分の追加 ホルムアルデヒド放散量試験の捕集方法での両木口面をシールすることとする
平成15.02.27			236	ホルムアルデヒド放散量表示義務化に伴う性能区分の変更
20.05.13			701	昭和63.09.14付け第1443号「構造用単板積層材の日本農林規格」を廃止し、昭和53.08.08付け第106号「単板積層材の日本農林規格」に統合 造作用単板積層材の品名の表示方法の変更、仕上げ材及び未仕上げ材の区分の追加、寸法の許容差の変更 構造用単板積層材の使用環境区分の変更、使用できる接着剤の変更、寸法の許容差の変更、二次接着を評価する方法の追加 ホルムアルデヒド放散量試験における濃度の算出はバックグラウンド溶液を基準とする
25.11.12			2773	A種構造用単板積層材とB種構造用構造用単板積層材に分類化 めり込み性能を追加（A種構造用単板積層材）
28.08.30			1639	単板積層材の接着性能に関する表示事項として、使用した接着剤を追加する
29.10.20			1580	構造用単板積層材に保存処理基準を創設（使用環境A、インサイジング不可） 木材保存剤の種類及び浸潤度と吸収量の基準を規定した 木材保存剤の種類は、製品処理：AZN、単板処理：BAACとした
平成30.3.29 令和00.6.27 令和02.6.01			683 475 1062	・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更 ・構造用単板積層材の1級、2級における縦使い平使いの曲げ強度区分が追加 ・実証試験を伴うシミュレーション計算を行った場合、構造用単板積層材の単板の積層数基準及び単板の品質（節径比）の基準値が緩和されることを追加 ・構造用単板積層材の最低厚さ制限の緩和 ・めり込み性能の表示について、「縦使い方向」のみでなく、「平使い方向」「両方向」も表示が可能となるように見直し ・寸法の測定方法について新設

規格の名称	告示年月日	告示番号		内 容 等
		制定	改正	
構造用パネル	昭和62.03.27 63.03.30 平成03.05.27 12.07.06 13.12.03	360	375 700 980 1604	「構造用パネルの日本農林規格」として新規制定 定義、曲げ強度の計算方法の変更 含水率適合基準、釘せん断試験の変更 ホルムアルデヒド放散量表示区分の追加 寸法許容差の変更 短辺方向が強軸方向であるものに対する強度基準の設定 はく離基準の明確化単位をSI系に変更 ホルムアルデヒド放散量表示区分の変更 「反り又はねじれ」の基準の変更 ホルムアルデヒド放散量試験における濃度の算出はバックグラウンド溶液を基準とする
	15.02.27 20.06.10		238 938	ホルムアルデヒド放散量試験片の作成の変更(試験片の合計面積を1800㎡以上とした)
	25.11.28		2904	被覆材料を規格に追加
	平成30.3.29 令和00.6.27 令和00.8.15		683 475 664	・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更 ・書式の変更
	27.03.09		512	昭和49.07.08付け第600号「枠組壁工法構造用製材の日本農林規格」と統合して、「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材」として改正された
枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材	平成30.3.29 令和00.6.27 令和02.6.01		683 475 1066	・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更 ・寸法型式405及び204を2枚合わせにした寸法の204Wを追加 ・含水率15%以下のD15と表示するものを追加 ・MSR区分の等級に新たな等級を追加 ・寸法の測定方法について新設 ・たて継ぎ部の曲げ試験について、たて継ぎ部を荷重スパン間に配置するように変更 また、横倒れ防止装置について明記
	25.12.20 28.08.30 平成30.3.29 令和00.6.27 令和00.8.15	3079	1640 683 475 662	新規格制定(略称:CLT) 直交集成板の強度等級及び接着性能に関する表示事項として、ラミナの強度等級及び使用した接着剤を追加する ・認定を認証に変更 ・日本工業規格を日本産業規格に名称変更 ・外層及び内層について「ただし、美観等を目的とした層を除く」を削除 ・隣接する単板長さ方向の接着部の間隔について厚さ40mmの二次接着をした製品の二次接着層に隣接する単板を除くことを追加 ・積層方向のせん断強度を見直し ・同一等級構成の目視等級区分ラミナの等級の呼称を変更 ・直交集成板の曲げヤング係数及び曲げ強さの適合基準の見直し ・面取り加工したラミナを使用できるように変更 ・ホルムアルデヒド放散量試験について装置及び機器の条件を追加
接着たて継ぎ材	令和03.2.24	292		「接着たて継ぎ材」として新規制定

廃止規格

規格の名称	告示年月日	告示番号			内 容 等
		制定	改正	廃止	
集 成 材	昭和41.09.07	1055			化粧用、構造用及び化粧ばり構造用集成材の3種類を「集成材の日本農林規格」として新規制定 「製材の日本農林規格」改正関連 造作用、化粧ばり造作用、構造用及び化粧ばり構造用集成材の4種類とし、構造用には、曲げ性能を追加 「製材の日本農林規格」改正関連 昭和41.09.07付け第1055号「集成材の日本農林規格」の全部を改正するため
	42.12.08		1842		
	44.09.10		1145		
	47.10.14 49.07.08		1892	601	
フローリング	昭和28.04.11	233			「床板の日本農林規格」として新規制定 「広葉樹フローリングの日本農林規格」として新たに制定 昭和28.04.11付け第233号「床板の日本農林規格」を廃止 モザイクパーケットの追加 南方産広葉樹、集成フローリング、たて継ぎの追加 モザイクパーケットの等級の廃止 「広葉樹天然乾燥床板の日本農林規格」の新規制定 「木質複合床板の日本農林規格」の新規制定 「広葉樹天然乾燥床板の日本農林規格」の基準(材厚) 昭和33.11.27付け第961号「広葉樹フローリングの日本農林規格」、 昭和41.09.06付け第1051号「広葉樹天然乾燥床板の日本農林規格」 及び昭和44.09.10付け第1372号「木質複合床板の日本農林規格」 の3規格を「フローリングの日本農林規格」として一本化のため
	33.11.27	961			
	33.11.27			961	
	36.10.28		1276		
	38.05.24		697		
	40.12.24		1640		
	41.09.06	1051			
	44.09.10 44.09.10 49.11.13	1372	1375	1073	
構造用大断面集成材	昭和61.12.25	2054			「構造用大断面集成材の日本農林規格」として新規制定 ラジアタバインの樹種追加 機械等級区分(MSR)ラミナの導入 昭和61.12.25付け第2054号「大断面構造用集成材の日本農林規格」 を改正し、新たに「構造用集成材の日本農林規格」とするため
	平成03.09.05		1145		
	03.12.19		1468		
	08.01.29			111	
防火戸用合板	昭和36.01.16	29			「防火戸用合板の日本農林規格」として新規制定 5層以上の接着力試験片作成方法の追加 昭和36.01.16付け第29号「防火戸用合板の日本農林規格」を廃止
	平成04.05.01 09.06.30		516	1041	
足場板用合板	昭和47.05.16	711			「足場板用合板の日本農林規格」として新規制定 単板のジョイント方法、面取り加工、保護金具、寸法、表示事項等 5層以上の接着力試験片の作成方法の追加 昭和47.05.16付け第711号「足場板用合板の日本農林規格」を廃止
	平成04.05.01 09.06.30		565 516	1041	
パレット用合板	昭和52.01.07	6			「パレット用合板の日本農林規格」として新規制定 5層以上の接着力試験片の作成方法の追加 昭和52.01.07付け第6号「パレット用合板の日本農林規格」を廃止
	平成04.05.01 09.06.30		516	1041	
単 板	昭和28.08.01	518			「単板の日本農林規格」として新規制定 昭和28.08.01付け第518号「単板の日本農林規格」を廃止 実状に合わせて全部改正し、新たに「単板の日本農林規格」として制定 平成12.12.01付け第959号「単板の日本農林規格」を廃止
	33.11.27			959	
	33.11.27			1470	
普通合板	昭和28.08.01	517			「合板の日本農林規格」として新規制定 実状に合わせて全部改正し、新たに「合板の日本農林規格」として制定 昭和28.08.01付け第517号「合板の日本農林規格」を廃止 難燃処理関連事項の補足 「防火戸用合板の日本農林規格」を新設のため 「難燃合板の日本農林規格」を独立制定のため 「特殊合板の日本農林規格」を独立制定のため 規格体系を整備し、新たに「普通合板の日本農林規格」として制定 計量法全面改正に伴う試験濃度表記の変更 昭和33.11.27付け第960号「合板の日本農林規格」を廃止 「コンクリート型わく用合板の日本農林規格」を独立制定のため 「足場板用合板の日本農林規格」を独立制定のため 「防災合板の日本農林規格」を独立制定のため 「パレット用合板の日本農林規格」を独立制定のため ホルムアルデヒド放散量基準値の追加 「構造用合板の日本農林規格」の改正関連 針葉樹関連基準の追加 防虫処理基準の追加(ほう素化合物、クロルデン、ホキシム及びフェニトロチオン) 防虫処理基準のうちクロルデンの基準の削除 「コンクリート型わく用合板の日本農林規格」の改正関連のため スチーミング処理試験の追加 5層以上の接着力試験片の作成方法の追加
	33.11.27	960			
	33.11.27			960	
	35.01.24		13		
	36.01.16		29		
	36.06.15		623		
	36.09.25		1031		
	39.04.11	383			
	39.04.11			383	
	42.06.30		932		
	47.05.17		771		
	47.09.11		1650		
	52.01.07		6		
	55.09.13		1320		
	57.12.14		2047		
	58.09.08		1635		
60.12.25		1860			
61.09.20		1639			
平成01.11.15		1515			
04.05.01		516			



廃止規格

規格の名称	告示年月日	告示番号			内 容 等
		制定	改正	廃止	
普通合板	平成09.07.04		1099		適用の範囲、定義「防火戸用合板の日本農林規格」、「足場板用合板の日本農林規格」及び「パレット用合板の日本農林規格」の削除 計量法全面改正に伴う試験濃度表記の変更 針葉樹を用いた合板に対応するため品質基準（接着の程度、含水率、板面の品質、寸法等）を追加、接着力試験の迅速化を図るため試験方法厚さ10枚測定の基準値を削除標準寸法について整理試験の適合基準を基準中に掲載 ホルムアルデヒド放散量表示区分及び同基準値の変更 整理統合され「合板の日本農林規格」に一本化のため
	11.06.21		851		
	12.06.28		920		
	15.02.27		232		
コンクリート型枠用合板	昭和42.06.30	932	1636		「普通合板の日本農林規格」から独立し、新規制定 針葉樹関連基準の追加 型枠の「わく」の文字の漢字化及び表面加工品の追加 スチーミング処理試験の追加5層以上の接着力試験片作成方法の追加 減圧加圧試験の追加（オール針葉樹単板で構成されたものに限る。） 幅方向の曲げ剛性試験の追加板面の品質基準の変更構成単板の変更ホルムアルデヒド放散量基準値の変更 接着力試験の迅速化を図るため試験方法 ホルムアルデヒド放散量表示区分及び同基準値の変更 整理統合され「合板の日本農林規格」に一本化のため
	58.09.08		1515		
	平成01.11.15		516		
	04.05.01		1252		
	09.08.06				
	11.06.21		852		
12.06.28	920				
15.02.27	232				
構造用合板	昭和44.09.10	1371			「普通合板の日本農林規格」から独立し、新規制定 2級の基準の追加 材料規定（エンゲルマンズプルス）、強度値設定等 ホワイトポケット関連基準の追加 防虫基準を追加（ほう素化合物、クロルデン、ホキシム及びフェニトロチオン） 防虫基準のうちクロルデンの基準の削除 特種の接着の程度の試験方法としてスチーミング繰返し試験の追加 減圧加圧試験の追加（オール針葉樹単板で構成されたものに限る。） 5層以上の接着力試験片の作成方法の追加 ホルムアルデヒド放散量基準値の変更 針葉樹を用いた合板に対応するため 1級は曲げ強さ及び曲げヤング係数をその数値（E50-F160）で表示できることとするため 板面の品質の基準c.dの節等の基準を改めるため 曲げ試験片の大型化、面内せん断試験の追加、圧縮試験の削除 板面の品質等級は1級を2級に合わせるD-D基準を追加 1級の単板構成基準を2級に合わせるため 標準寸法は1級を2級と同等とするため 2級は強度性能を推定できるように有効断面係数比が表示できることとするため 接着力試験の迅速化を図るため試験方法 減圧加圧試験について再試験の追加 試験の適合基準を基準中に掲載 ホルムアルデヒド放散量表示区分及び同基準値の変更 整理統合され「合板の日本農林規格」に一本化のため
	51.10.06		894		
	57.12.14		2047		
	58.09.27		1709		
	60.12.25		1861		
	61.09.20		1639		
	平成01.11.15		1516		
	04.05.01		516		
	09.08.06		1253		
	11.06.21		850		
	12.07.10		987		
15.02.27	232				
特殊合板	昭和36.09.25	1031 65			「合板の日本農林規格」から独立し、新規制定 実状に合わせて全部改正し、新たに制定 65 昭和36.09.25付け第1031号「特殊合板の日本農林規格」を廃止 性能別規格の導入（F、FW等）による全部改正 「防火合板の日本農林規格」を独立制定のため ホルムアルデヒド放散量基準値の追加 防虫処理基準の追加（ほう素化合物、クロルデン、ホキシム及びフェニトロチオン） 防虫処理基準のうちクロルデンの基準の削除 「コンクリート型枠用合板の日本農林規格」の改正関連 ホルムアルデヒド放散量表示区分及び同基準値の変更 試験の適合基準を基準中に掲載 整理統合され「合板の日本農林規格」に一本化のため
	40.01.26				
	40.01.26				
	44.09.10		1373		
	47.09.11		1650		
	55.09.13		1320		
	60.12.25		1861		
	61.09.20		1639		
平成01.11.15	1515				
12.06.28	921				
15.02.27	232				
難燃合板	昭和36.06.15	623			「合板の日本農林規格」から独立し、新規制定 建築基準法施行令改正に伴う燃焼試験方法改正等による全部改正 「防火合板の日本農林規格」を独立制定のため ガス有害性の基準の追加 スチーミング処理試験の追加 5層以上の接着力試験片の作成方法の追加 ホルムアルデヒド放散量基準値の変更 整理統合され「合板の日本農林規格」に一本化のため
	44.12.05		1869		
	47.09.11		1650		
	52.03.29		319		
	平成04.05.01		516		
12.07.06	978				
15.02.27	232				
防火合板	昭和47.09.11	1650			消防法施行規則の改正に伴い新規制定 スチーミング処理試験の追加 5層以上の接着力試験片の作成方法の追加 ホルムアルデヒド放散量基準値の変更 整理統合され「合板の日本農林規格」に一本化のため
	平成04.05.01		516		
	12.07.06		979		
15.02.27	232				

廃止規格

規格の名称	告示年月日	告示番号			内 容 等	
		制定	改正	廃止		
構造用集成材	平成08.01.29	111			構造用大断面集成材を構造用集成材(大断面)、(中断面)、(小断面)として全部改正し、新たに「構造用集成材の日本農林規格」として制定使用環境の基準化、減圧加圧試験の追加、樹種群及び強度等級の見直し ホルムアルデヒド放散量表示区分の追加 ホルムアルデヒド放散量試験の捕集方法での両木口面をシールすることとする ホルムアルデヒド放散量表示区分の変更 平成8.01.29付け第111号「構造用集成材の日本農林規格」を廃止し、昭和49.07.08付け第601号「集成材の日本農林規格」に統合	
	12.07.10		992			
	15.02.27		235			
	19.09.25			1152		
構造用 単板積層材	昭和63.09.14	1443			「構造用単板積層材の日本農林規格」として新規制定 定義、曲げ性能、水平せん断性能の変更 隣接する単板の長さ方向の接着部の間隔の項 ホルムアルデヒド放散量表示区分の追加 ホルムアルデヒド放散量試験の捕集方法での両木口面をシールすることとする ホルムアルデヒド放散量表示区分の変更 使用環境1及び2区分の追加 昭和63.09.14付け第1443号「構造用単板積層材の日本農林規格」を廃止し、昭和53.08.08付け第106号「単板積層材の日本農林規格」に統合	
	平成03.12.27		1494			
	11.06.21		853			
	12.07.10		989			
	15.02.27			237		
20.05.13			701			
合 板	26.02.25				303 難燃処理普通合板及び防災処理普通合板の規格を廃止 難燃処理天然木化粧合板及び防災処理天然木化粧合板の規格を廃止 難燃処理特殊加工化粧合板及び防災処理特殊加工化粧合板の規格を廃止	
枠組壁工法構造 用たて継ぎ材	平成03.05.27	701			「枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」として新規制定 定義をたて枠用たて継ぎ材、甲種たて継ぎ材、乙種たて継ぎ材に変更 非ホルムアルデヒド系接着剤使用の表示制定 樹種グループの略号S I 及びS II の廃止 表示事項及び表示の方法についての変更 含水率試験方法の変更 「枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」は、平成27年6月7日に廃止され、枠組壁工法構造用製材と統合。	
	06.03.25		590			
	15.02.27		239			
	17.08.15		1305			
	22.07.09		1036			
	27.03.09					512